

子どもたちの姿から 子育てと教育の現状を とらえ直す



小学校ってたいへんなの？

子どもが生きるのに本当に必要なことは？

子どもたちが学校や家庭で感じている戸惑いを、保育園、幼稚園、小学校の子どもの姿から分析し、いま必要な教育とは何かを臨床教育学の視点からお話いただきます。わが子に寄り添うヒントが見えてきます。

日時：10月18日（日）

14：00～16：00（受付13：30～）

会場：麻生市民館 大会議室

対象／定員：関心のある方 50名（先着順・定員になり次第、募集は終了）

*新型コロナの状況によっては変更の可能性があります

申込：電話、来館、HPにて

電話044-951-1300

参加無料



講師：広木 克行（ひろき かつゆき）先生

神戸大学名誉教授。

不登校の子どもと親の相談に20年以上関わるとともに、全国各地で保育・教育の講演会、子育て相談を続けている。著書に『人が育つ条件』『子どものシグナル見えますか』（北水）、『手をつなぐ子育て』（かもがわ出版）、『子どもは「育ちなおし」の名人！』（清風堂書店）ほか多数。